

# 男女共同参画推進室便り

神戸大学男女共同参画推進室 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 tel. 078-803-5017 fax. 078-803-5285

## プロジェクト奨励研究員 研究発表会 開催報告

2009年12月24日(木)、六甲台キャンパス  
瀧川記念学術交流会館にて「再チャレンジ！女性  
研究者支援神戸スタイル」事業による標記発表会  
が開催され、学内外から約45名が参加しました。

### 神戸大学理系若手女性研究者 研究最前線 2009

発表会は神戸大学男女共同参画  
担当理事の正司理事、またプロ  
ジェクト総括責任者として福田学  
長による挨拶で開会しました。  
4名のプロジェクト奨励研究員  
と発表テーマは下記のとおり。そ  
れぞれがプレゼンテーションを終  
えると会場からの質疑に答え、研  
究技法から研究生活、また将来の  
展望についても熱く語られまし  
た。

ゲストの宇野賀津子氏(財団法人  
ルイ・パストゥール医学研究  
センター インターフェロン・生  
体防御研究室長、坂東昌子氏(愛  
知大学名誉教授による講評の後、  
朴木神戸大学男女共同参画推進室  
長が本学の女性研究者支援の現状  
とこれからについて報告。「来年  
度も新たな女性研究者たちのため  
に研究発表会を開催できるよう、  
積極的な支援を継続してゆきた  
い」と述べ、相馬特別顧問からの  
閉会挨拶で締めくくられました。

福田学長がプロジェクト総括責任者として挨拶→



4名のプロジェクト奨励研究員たち  
(左上から時計回りに：岡村さん、  
中馬さん、新田さん、日下部さん)



発表を終えたプロジェクト奨励  
研究員からは「通常の学会と違い、  
自分の研究を見直して発表でき、  
刺激になった。支援していただ  
けば成果が出る、というふうにとら  
えてもらえたことはとてもうれし  
い。ポストドク生活は孤独ですが、  
外側に支援者がいるということが  
必要だと思う。発表会では参加者  
の方々にこの制度がうまくいって  
いると感じていただけたようで、  
これからますます頑張らなければ  
という気持ちになった」との感想が  
寄せられました。

- 岡村千絵子 (医学研究科生理学・細胞生物学講座分子遺伝学分野：指導教員 饗場篤教授)  
『プロテオミクスによるマウス脳内タンパク質の探索』
- 中馬いづみ (農学研究科生命機能科学専攻植物病理学：指導教員 土佐幸雄教授)  
『Arms race —イネいもち病菌とイネ品種の軍拡競争』
- 日下部りえ (理学研究科生物学専攻生命情報伝達：指導教員 井上邦夫准教授)  
『発生過程における遺伝子調節機構～メダカを用いた研究より』
- 新田紀子 (工学研究科機械工学専攻材料物性学：指導教員 保田英洋教授)  
『イオン照射による半導体の構造変化』

#### 講評要旨

坂東 昌子 氏

愛知大学名誉教授  
NPO 法人「知的人材ネットワーク  
・あいんしゅたいん」理事長

- ①プロジェクト奨励研究員のプレゼンテーション能力が高く専門外の参加者にも理解でき、大きなストーリーを描きながら研究に励んでいることがよく分かった。
- ②指導教官のコメントが的確で、受け入れ研究室の力量が良い結果に繋がっていると思った。
- ③プロジェクト奨励研究員と研究室を繋いだコーディネーターの学問的見識の成果が見られた。
- ④育成研究員制度は神戸大学の中だけの事業展開ではなく、他大学の卒業生も対象としており、拡がりがある。



### プロジェクト奨励研究員・日下部さん 助教へ採用決定

プロジェクト奨励研究員(育成研究員)の日下部りえさんが、平成22年度より、助教として理学研究科にて研究することになりました。

育成研究員は理系女性研究者増をめざす本学が独自に創設した制度で、インキュベーションシステムを通じ、女性研究者が正規職へ就くためのバックアップをしています。日下部さんが後進の女性研究者たちの励みとなるようなロールモデルとして活躍されることを期待しています。



HOT NEWS!

### 朴木 男女共同参画推進室室長 人間発達環境学研究科長に

男女共同参画推進室長を務める朴木佳緒留教授は、平成22年度より本学人間発達環境学研究科長に就任します。女性が研究科長を務めるのは本学でも初めてのこと。神戸大学の男女共同参画の歴史に新たな一歩が記されることとなります。

## キャリアカフェ 開催報告

2009年11月17日(火)  
@工学部学生ホール AMEC3

## イノベーションに生きる 女性研究者たち



↑(左より) 鎌田氏、栄部氏、山田氏

産官学の各分野で活躍する、工学研究科准教授の鎌田泰子氏、パナソニック(株)の山田由佳氏、(独)産業技術総合研究所の栄部比夏里氏が、それぞれの研究と生き方について語りました。

鎌田氏は、土木の分野は女性研究者が少ないけれど、周囲の女性であることは個性に過ぎないという捉え方が研究を続けてこられた理由の一つだと語り、山田氏は、成果(できた)を見せることが必要とされる企業の研究所ならではの苦労や達成感、また早い段階で何らかの成功体験をすることが、仕事へのモチベーションになると話しました。4人の子どもを持つ栄部氏は、ワーク・ライフ・バランスについて話しました。

科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業によるキャリアカフェは今回をもって終了しました。今後は、学内の各部局ごとに開催していく予定です。

## メンター制度 最新情報

### メンターが43名に

これまでのキャリアカフェでゲスト講演をしてくださった男女の研究者をはじめ、学内外の企業・大学・研究機関の先輩研究者メンターが、神戸大学で研究に従事する女子学生・教職員のさまざまな疑問や相談事に助言します。メンタリングで、専門を越えて研究生生活のあれこれを話してみませんか。研究者プロフィールとメンタリング手続きはウェブにあります：

手続き、利用者の声：

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/kobestyle01/activity/mentor.html>

プロフィール (2010年2月改訂予定)：

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/kobestyle01/shared/pdf/activity/mentor/mentoring.pdf#page=3>

講演記録 (2010年2月改訂予定)：

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/kobestyle01/shared/pdf/activity/archive/archive.pdf>

## 再チャレンジ! 女性研究者支援 神戸スタイル

文科省科学技術振興調整費女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウム

「女性研究者支援の新時代を迎えて」



2009年11月25日(水)・26日(木) 日本大学会館にて開催された女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウム「女性研究者支援の新時代を迎えて」において、正司健一理事(男女共同参画担当)が「再チャレンジ!女性研究者支援神戸スタイル」事業の取り組み報告をしました。



### ご存じですか?

## 国連・女性差別撤廃委員会

CEDAW

### 「総括所見」

2009年8月に、国連の左記委員会は日本政府に対して、大変厳しい内容の「所見」を出しました。大学に直接関係する部分を以下、抜粋・要約します(冒頭の番号は所見に付けられている番号です)。

- 20. 本条約が法的拘束力をもつものとして、認識されるよう強く要請する。
- 27. 職場や公的活動でのジェンダー平等を促進するための暫定的特別措置がとられていないことに、遺憾の意を持って留意する。
- 28. 学界、政治的・公的活動への女性の参加を引き上げるための数値目標とスケジュールをもった暫定的特別措置を採用するよう要請する。
- 41. 政界、司法、学界、外交におけるハイレベルの地位に女性の割合が低いことを懸念する。
- 42. 男女平等を加速するために特別措置を実施することを強く要請する。
- 43. 女性が学会における伝統的分野に集中し、教授レベルの女性の参加が少ないことを懸念する。
- 44. 第三次男女共同参画基本計画において、大学の女性教員の割合の達成目標を20%から引き上げ、最終的に同等になるよう促進することを勧告する。

以上の他、雇用や家庭責任の平等化などについて多く指摘されています。

詳細は内閣府男女共同参画局のHP (<http://www.gender.go.jp/teppai/index.html>) をご覧下さい。

## 神戸大学 男女共同参画推進室

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 TEL 078-803-5017/FAX 078-803-5285

Email: [kyodo-sankaku@port.kobe-u.ac.jp](mailto:kyodo-sankaku@port.kobe-u.ac.jp)

HP:<http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/index.html>



男女共同参画推進室シンボルマーク